事業報告書

がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン

がん看護学教育 国際セミナー

ケアの質改善をめざす実践と研究 - 米国における高度実践看護師の取り組み-



報告書について

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授 小松 浩子

平成 24 年度よりスタートしたがんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「高度がん医療開発を先導する専門家の養成」事業も3年目を迎え、折り返し地点に立ちました。慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科では、【高度最先端がん医療を支える専門看護師養成コース(修士課程)】【がん看護トランスレーショナルリサーチコース(博士課程)】を推進しています。これらのコースではグローバルな視点から活躍できるがん看護研究者と高度実践看護師の育成をめざしています。これまでにグローバルに活躍できる看護師をめざし、がん看護学教育国際セミナーを継続開催してきました。



第3回がん看護学教育国際セミナーでは米国スタンフォード大学附属病院 Garrett Chan 博士をお招きし、「米国における APRN (高度実践看護

師)の役割機能の発展」および「APRNによる質保証・改善の活動・研究」についてご講演頂きました。高度実践看護師が<患者中心のがん医療>を先導するためには常に患者にとっての最善のアウトカムを保証するケアの創出に責任を持たなければなりません。

Garrett Chan 博士はナースプラクティショナーと専門看護師の2つの認定を受け、スタンフォード大学におけるケアの質保証を先導しておられます。博士から、理論と実践との研究の連関によるケアの質保証について基盤となる理論および研究について貴重な内容をご講演頂きました。

がん看護ケアの質改善に取り組んでおられる看護師の皆様に広くご活用頂くことを考え、講演の内容を報告書に まとめました。どうぞご一読頂き、ご意見や今後の課題についてフィードバック頂ければ幸いに存じます。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン がん看護学教育国際セミナー

ケアの質改善をめざす実践と研究

-米国における高度実践看護師の取り組み-

爽やかな秋風を感じる2014年10月、東京丸の内のJPタワーホール&カンファレンスにて、がん看護学教育国際セミナーが開催されました。

平成 24 年度より慶応義塾大学を主幹に 10 大学が連携し取り組んでいる、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン < 高度がん医療開発を先導する専門家の養成 > 事業の一環である今回のセミナーは、昨年に引き続き、米国スタンフォード大学附属病院の Garrett Chan 先生をお招きして、高度実践看護師の取り組みについてご講演頂きました。

Garrett Chan, PhD, APRN, FAEN, FPCN, FNAP, FAAN

Stanford Hospital & Clinics (米国スタンフォード大学付属病院)

Garrett Chan, PhD, APRN, FAEN, FPCN, FNAP, FAAN Director of Advanced Practice Stanford Hospital & Clinics



Seminar Schedule

日 時:2014年10月25日(土) 13:30~16:50

会場: JP タワーホール&カンファレンス 4 階 カンファレンスルーム A3

司 会:小松浩子 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授)

講師: Garrett Chan, PhD, APRN, FAEN, FPCN, FNAP, FAAN

Stanford Stanford Hospital & Clinics (米国スタンフォード大学附属病院)

Lecture1

高度実践看護師によるケアの質保証と改善 < P6~18>

Lecture2

ケアの質改善のための実践と研究 < P19 ~ 23 >

Q&A

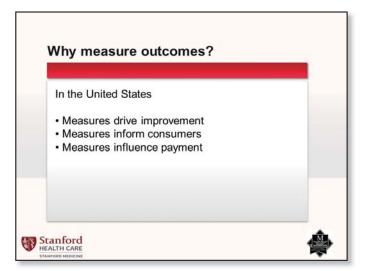
Lecture1

高度実践看護師によるケアの質保証と改善

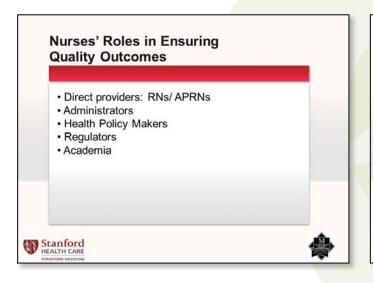
レクチャー1では、何故、質保証・質改善が医療において重要なのか、質改善プロジェクトに参加するために必要な APRN のスキル、プロセスの改善に役立つ2つの方法論について講義が行われました。

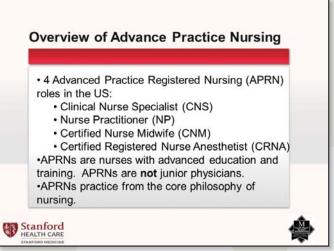






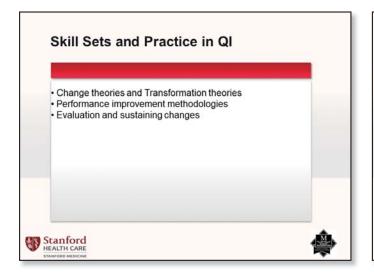


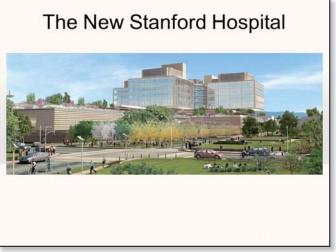


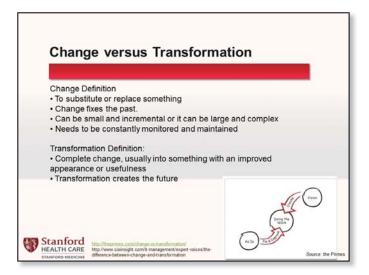


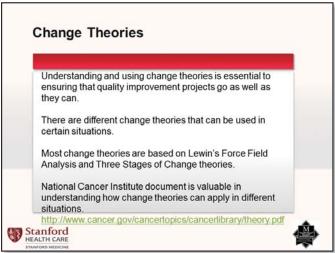






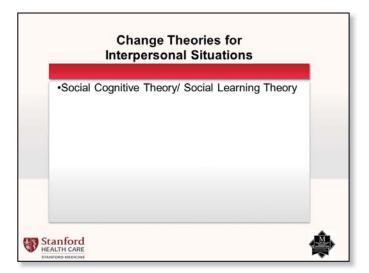








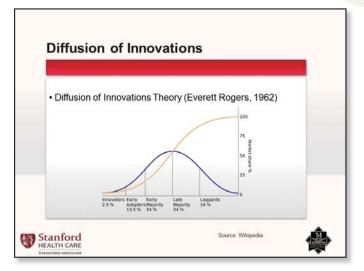


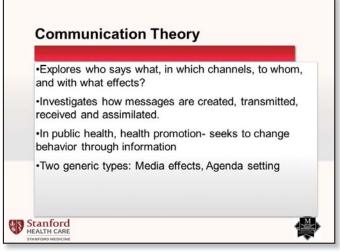






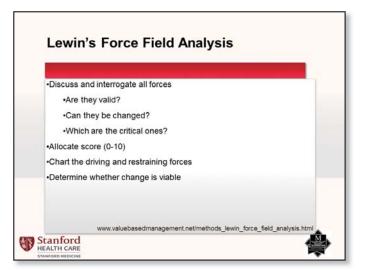




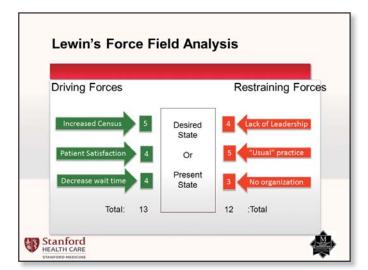


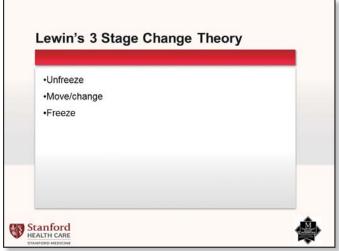


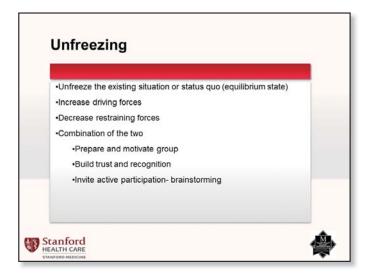




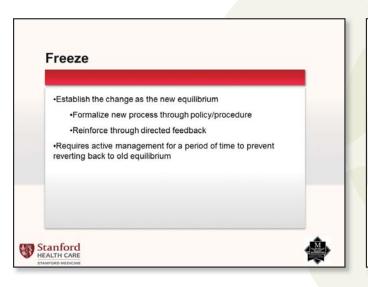


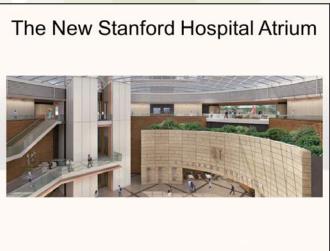


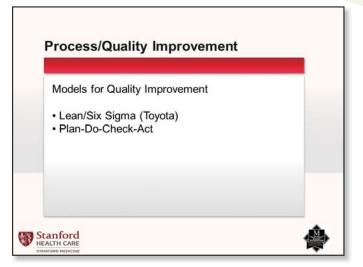


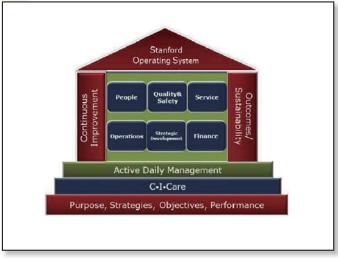


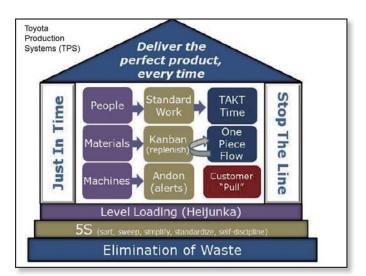


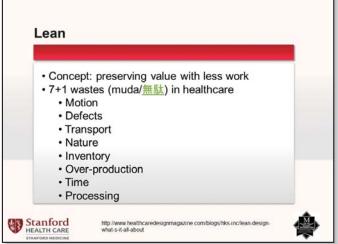




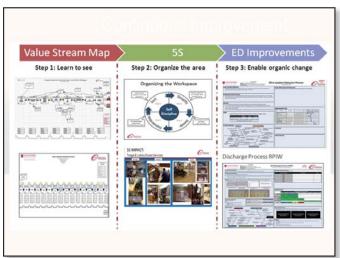


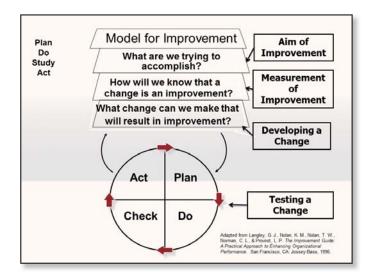


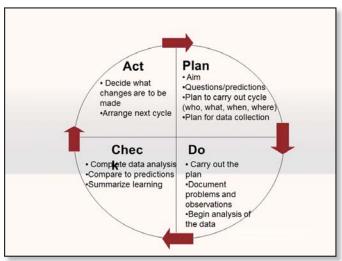


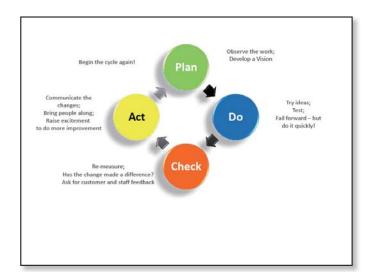


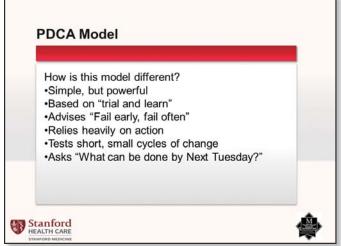


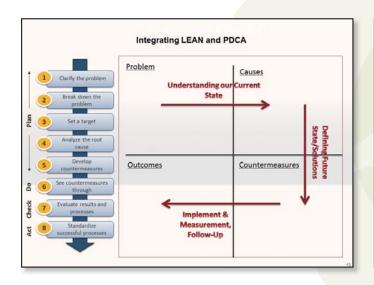






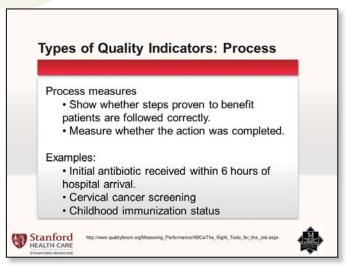






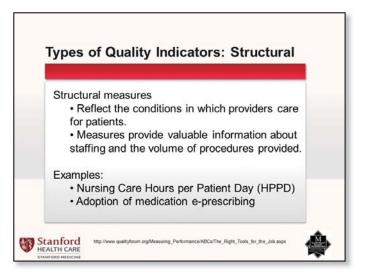


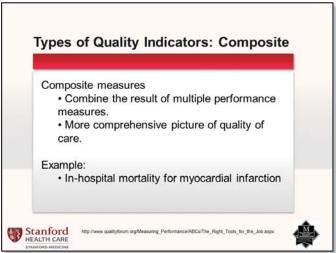


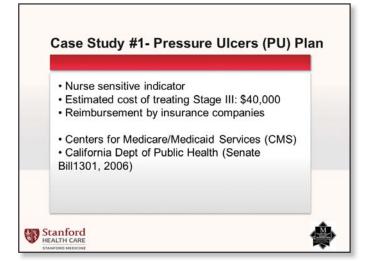


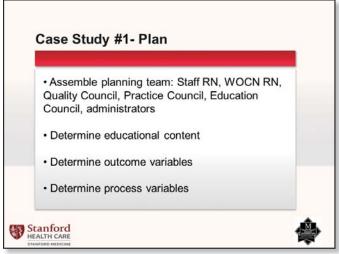


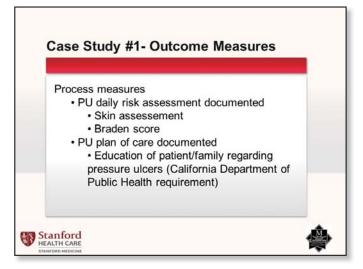


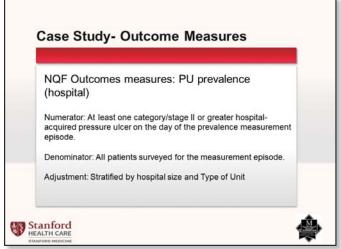


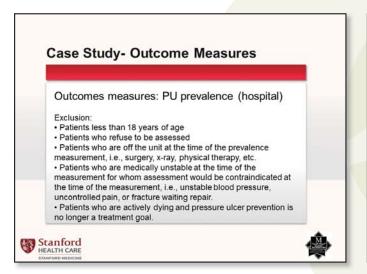


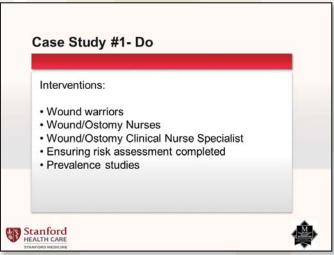


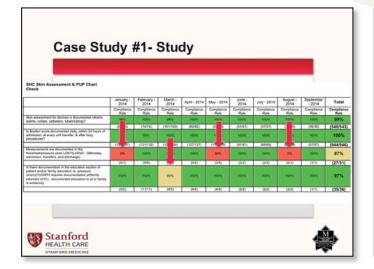


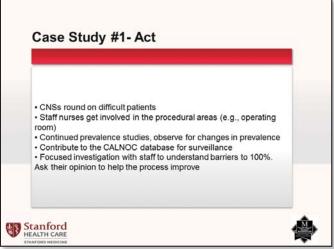


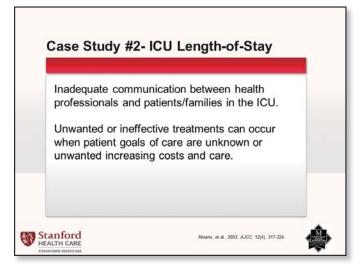


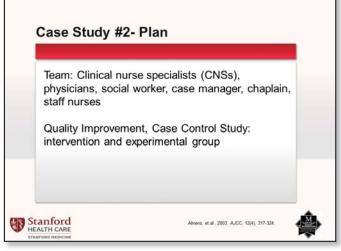


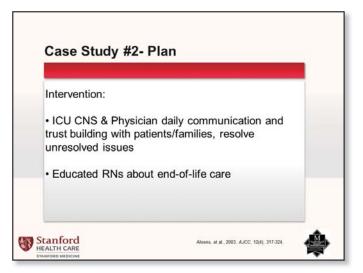


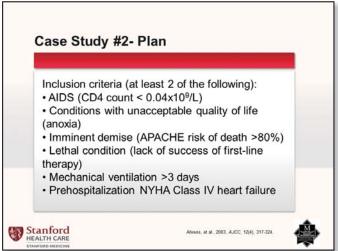


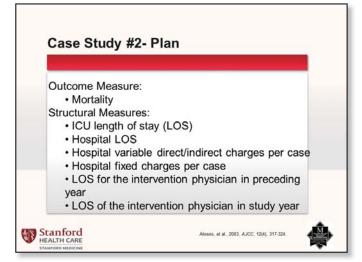


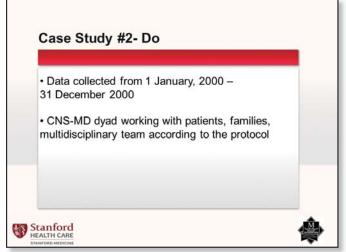


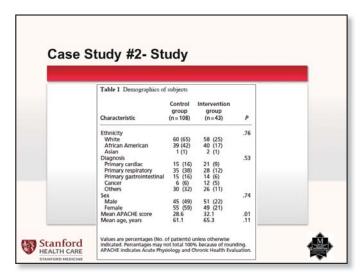


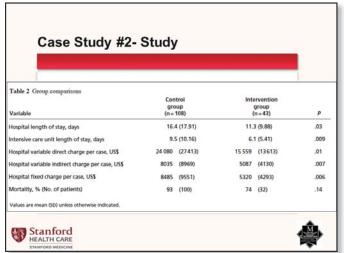


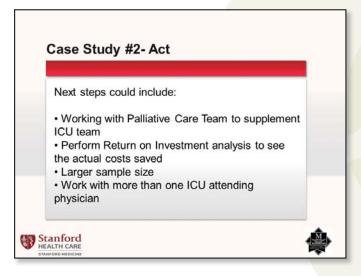


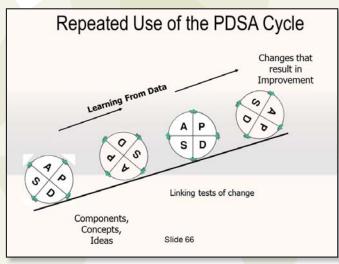


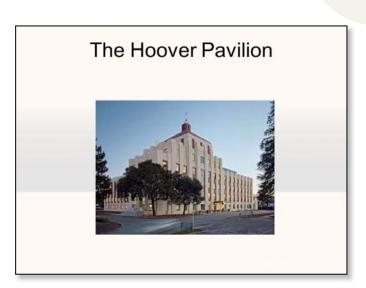


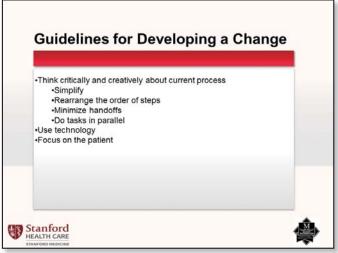


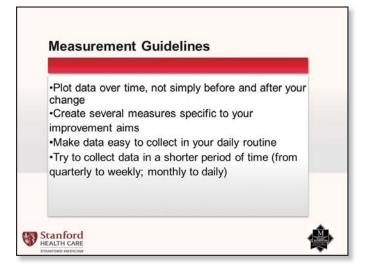




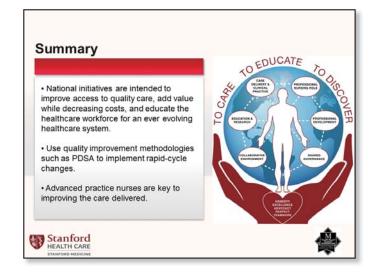












Never doubt that a small group of committed citizens can change the world.
Indeed, it is the only thing that ever has.

Margaret Mead



Lecture2

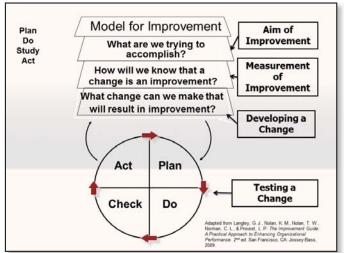
ケアの質改善のための実践と研究

レクチャー2では、ケアの質改善の実践に用いる2つのツールに関すること、および科学的な方法として質改善に対する 主要な課題について講義が行われました。







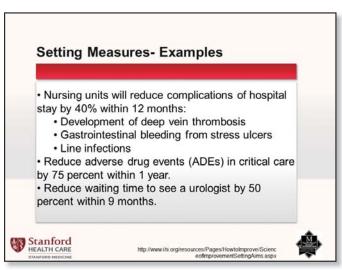


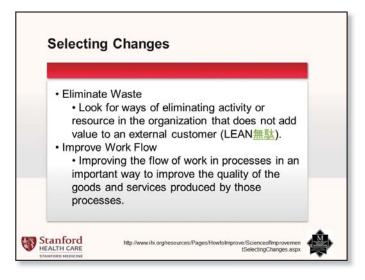
Lecture2 ケアの質改善のための実践と研究

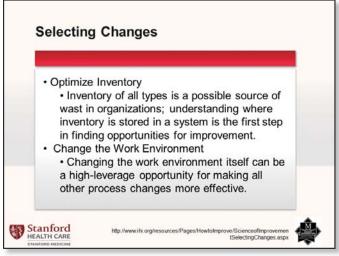






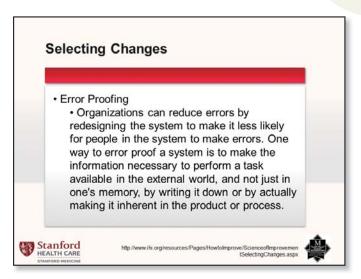


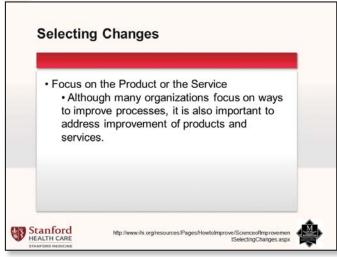


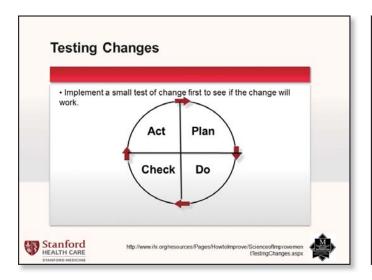


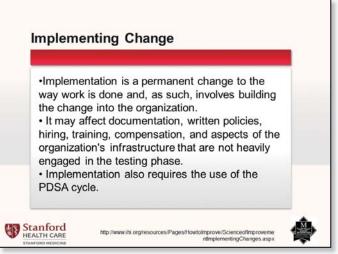












Lecture2 ケアの質改善のための実践と研究

